

会議名 第1回ニセコ町総合計画見直し検討委員会

開催日	平成28年2月4日	会議時間	開会 AM・PM 3:00 閉会 AM・PM 5:00
会議場所	ニセコ町民センター 研修室1	記録者	矢元あみ
出席者	<p>検討委員会委員            上野菜月委員、齊藤海三郎委員、佐々木淳委員、佐々木眞理委員、鈴木 宏委員、竹石成樹委員、坪井 訓委員、日野浦あき子委員、平島義彦委員、牧野雅之委員、安岡洋介委員、            ニセコ町 片山町長、企画環境課山本課長、佐々木係長、矢元主事</p>		
会議日程	<p>1 開会            2 町長挨拶            3 委員長・副委員長の互選            4 議事            (1) 第5次ニセコ町総合計画の基本的な考え方について (資料1)            (2) 町民アンケートの実施結果について (資料2)            (3) 見直しに向けた作業状況について (資料3、資料4)            (4) 見直しに向けた内容検討について            (5) その他            5 その他            6 閉会</p>		
会議内容	<p>《町長挨拶》            ・ 第4次総合計画「小さな世界都市ニセコ」から第5次「環境創造都市ニセコ」への深化に込めた想い            ・ 環境モデル都市を目指す取組みと、自治創生に向けた取組みに共通する住民自治            ・ 人口戦略は、自治創生に規定されて行うものではなく、第5次総合計画そのものが当初から内包していた視点としての人口対策を、今回、組み込んだ。</p> <p>《委員自己紹介》 (省略)</p> <p>《委員長・副委員長の互選》～事務局提案が、承認された            ・ 委員長 : 齊藤 海三郎さん            ・ 副委員長 : 高井 裕子さん ※本人欠席のため、後日事務局より依頼し承諾。</p> <p>《議長(齊藤海三郎委員長)からのあいさつ》            ・ 委員としても意見は申し述べたいので、その方向で進めさせていただきたい。</p>		

### 《議事》

- 資料 1 : ニセコ町第 5 次ニセコ町総合計画の概要について
- 資料 2 : 町民アンケートの実施結果について
- 資料 3-1 : ニセコ町総合計画全体の進行状況
- 資料 3-2 : アンケート調査結果に基づく論点の整理（評価ポイント）と課題の構造
- 資料 3-3 : 第 5 次ニセコ町総合計画 環境創造都市ニセコ 第 1 次見直し版案
- 資料 4-1 : 「ニセコ町自治創生総合戦略」の位置付け（案）
- 資料 4-2 : ニセコ町総合戦略骨子（案）
- 資料 4-3 : ニセコ町総合戦略骨子（案）概要

～以上について、それぞれの資料の要点について、一括して説明した。（内容省略）

### 《質疑応答》

#### ○資料 3-2 についての質問

- ・ 地区別の特徴を課題としているが、全町的な評価低下については派生課題にならないのか？  
→特に地域差を顕著な視点として作成した資料であり、全町的課題を無視するものではない。

#### ○資料 3-1 についての質問

- ・ 実施計画の庁内評価結果については、何処まで実施されているのか。記載されているのか？それとも、今後いつかの時点で出てくるのか？  
→これから、庁内各担当者によるローリングの中で、これまでの実施状況に対する評価が出てくる。次回、その内容に関する資料を出したい。その際は、細かくというより、大きな括りの一覧表の形で出したい。

### 《意見交換》

(1) ニセコ町自治創生総合戦略の考え方を戦略ビジョン（基本計画）の 11 番目「住民みんながまちづくりを考え、活動します」に含めることの是非について

#### ①11 の戦略ビジョンの内容は、いつの時点で作成したものか

→4 年前に総合計画を策定した時に、作成したもの

#### ②11 番目その中に含める、ということであるが、具体的な表現は、どうなるのか？

→方向性を今回了解してもらえれば、具体的な表現を次回委員会時に提案したい。

#### ③総合戦略の事業内容は、1～11 に横断的にかかるということだが、どうまとめているのか？

→総合戦略の事業内容のうち、総合計画の戦略ビジョン 1～11 のそれぞれに関連する事業内容は、アンダーラインを付して、既に総合計画見直し案として記入してある

#### ④事務局提案通り、11 に入れることで良いか？

→全体：（了解）

(2) 様々な領域に関する、自由な意見交換

○資料 3-3 中の第 1 次見直しにおける論点から（平成 27 年度）の商工会に関連する

記述について、納得いかない部分がある。

商工会としては、ビジネスモデルを探している。担当課長も、自分の意図したことと表現が違う、とのことだった。町は商工会の活動を支援し伴走していく立場であると思う。これからも意思の疎通を図って行きたい。

関連して、62 ページのアンダーライン（戦略推進プランの商工業）部分について、趣旨から外れているものがある。

例えば、産業競争力強化法云々は、小規模事業者支援に関する制度ではないので、ニセコ町の商工業の実態にはマッチしない。小規模事業所の支援にマッチする事項を盛り込むべき。また、商工会では経営発達支援計画を策定し、中小企業庁の認定を受けている。その計画で取組む事業についても、総合計画内に盛り込むよう検討いただきたい。

○南西地区からの評価が低いとの説明があるが、南西地区出身の委員は？

→斉藤委員が住民、牧野委員も生まれは南西地区。

○南西地区は、従来から蘭越町（昆布）とのつながりが強いので、その意識が反映しているのではないか。そもそも、地区別に分けて評価する考え方に、問題があるのではないか？

全国から移住がある現在、地区単位で考えるべきか。今後は、地区別に区別する必要はないのではないか？近藤小学校の存続に、疑問も感じる。

○地区別の分析が、しっくり来ない。何処の地区も、同じではないか。

満足度の変化・推移を分析するのであれば、デマンドバスに不満がある。申し込んでも断られる人の割合が、実際に南西地区に多いのかどうか、はっきりしない。

○資料 3-3、138 ページ第 1 次見直しアンケート調査の集計表の差異の表記は、%でなくポイントにすべき。また、アンケートの質問の構造が、理解できないところがある。個別項目の評価と全体項目の評価が、大きくズレることがあって、理解しがたい。

○高速交通網について、有島地区だけが飛び抜けて評価が高くなっているのは、何を意味しているのか？この質問をすることに、意味があるのか？

→有島地区のデータの背景については、よくわからないのが実態だ。

○地域資源や地区コミュニティについては、地区別視点は必要だが、高齢化・独居が増えて、見守りに対する不安は全町的な傾向だ。これからは、高齢者の問題を全町的な視点で捉え、サービス面や交通の面（福祉輸送やデマンドバス等）など高齢者が安心して暮らせる支援体制を考える必要がある。介護保険法の見直しなどあり、地区別だけでは対応できない課題が生じている。また、障害者差別解消法の施行に伴って、商店や観光など多方面にも関連してくる観点になるのではないか。

○近藤地区のコミュニティ活性化の要因については、小学校の存在だけでなく、キーマンの存在が大きな意味をもっている。今後もキーマンを育てることは、必要であるが、

その方策はないか。

人材は引き継いでできているが、組織だっておらず脆い部分がある。上手く回っているのは、キーマンが義務感ではなく面白がって地区に関わってくれているため。

○首都圏との連携の点で、東京ニセコ会の存続に向けた、次の世代の後継者育成も必要。

○再生エネルギーについて、ニセコ町としてどの程度必要なのか、どの程度対応できそうなのかについて、将来像を描けているのか？

→削減目標を掲げているので、主要な排出源となっている事業所などへの協力を要請している。また、草の根運動で盛り上げていく必要があるので、その方策について検討していきたい。

○東京ニセコ会への支援の在り方の中で、金銭的支援も必要なのではないか。倉庫群イベントなどにおいても、ボランティア（無償）だけの活動の継続には限界があり、事業をきちんと回していくためにも、お金が入る仕組みが必要ではないか。

デマンドバスは良い事業だけど、うまく回っていない。事業利益が上がる仕組みにならないと、継続できない。例えば、夜間デマンドバスなどもいいのではないか。ラジオニセコの運営についても、同じ視点が必要。交通網と情報共有に共通に絡む視点として検討すべき。

○ニセコ町は、教育振興基本計画の中で、学校間連携、幼小中高一貫教育の準備を進めている。住民の立場から、地域と連携するコミュニティスクールに、住民のボランティア参画の可能性を探っている。ここから、各方面に広がっていく。ニセコ町には、すぐれた人材が多くいる。これらを繋ぐネットワークづくりが大切ではないか。交通網と情報共有の二つが重要だ。

デマンドバスの予約対応など、利用実態の具体化の把握が必要。

アンケートで見出した課題解決に向けては、地区ごとの細かい視点ではなく、全体的な視点が必要。

○コミュニティ助成金などの良い制度に関する情報が、活動する地域住民に知られていない。情報提供に向けた一元的な窓口など、提供システムがあれば良い。

→そのような情報窓口は、住民活動にとっても有益と思うので、検討したい。

○幼児センターに子供を2人預けている。ニセコ町は子育てしやすいまちだが、幼児センターと子育て支援センターの役割を、もっと充実させる必要がある。週末に働いているお母さんたちにとっては、週末の子供の預かりを希望している（場所は幼児センターでなくて良い）。

サービス内容の充実、たとえば、産前産後のケアが可能な仕組みも必要。送迎バスや子育てヘルパー、病児保育もあると良い。

○アンケートを見ても、商工会青年部の自分にピンポイントで当てはまる場所がない。商工業についての満足度評価は低い結果だが、ニセコ町民は、ニセコ町では必要なものが揃わないと頭から決めつけているのではないか、と思う。綺羅街道の商店街はほぼ壊滅状態に近いので、対策のアイデアが欲しい。

青年部では、30年程前から花火大会を開催している。小さな子どもたちに夏の思い出を作ってもらいたいというコンセプトだが、子供が大人になってニセコに戻って来てほしいという狙いもある。

○福井県鯖江町では、高校生の社会活動参加が、進んでいると聞く。高校生を活用する視野も大切ではないか。自治創生の最小単位は町内会であり、自分のいる東山町内会でも町内会の皆さんに支えられている。相互扶助の考え方が、11番目の柱の中に入ると良い。

○交通網について、在来線函館線の存続運動は、生活面だけでなく観光面からも重要なので、周遊できる交通機関の観光資源として、鉄路が残るように総合計画の戦略に盛り込めないか。

○保育園の保育体制に、不満がある。町の保育だけでなく、民間の保育園も必要。

農地保全についての不安が減っていると言うが、外資による農地に関わる土地取引の実態があって、不安はある。

親交会に加入しない人がいる。コミュニティが縮小しているので、除雪などのあり方に対する不安もある。特に新しく住宅を道路の除雪の影響を受けそうな場所へ建設するなど場合があるなど配慮が不足している。条例で規定することができないか。

《その他》

(事務局より)

「ご意見シート」を用意したので、提出してくれればありがたい。反映していきたい。次回の委員会の日程について提案し、3月2日(水)の15時からと決定した。